



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月26日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 利光 一浩 (TEL) 052-963-7501  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	127,721	△5.7	6,365	△25.5	6,527	△30.8	9,488	67.6
2019年3月期第1四半期	135,431	13.7	8,538	△5.6	9,431	1.4	5,660	△2.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 7,096百万円( 285.0%) 2019年3月期第1四半期 1,843百万円( △68.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	222.58	—
2019年3月期第1四半期	132.78	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	652,253	327,654	44.9
2019年3月期	650,697	318,140	43.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 292,729百万円 2019年3月期 285,508百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	55.00	—	65.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	260,000	△3.6	13,500	△19.4	13,500	△23.2	12,000	11.5	281.50
通期	530,000	△2.4	31,000	△8.3	31,500	△8.3	24,000	13.3	562.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	43,448,769株	2019年3月期	43,448,769株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	819,488株	2019年3月期	819,275株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	42,629,424株	2019年3月期1Q	42,630,976株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足説明資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復となりましたが、輸出や生産に弱さがでてきました。また、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題など、不安定な世界情勢から先行きは不透明な状況で推移しました。

このような経済環境の中、特殊鋼の主要需要先である自動車産業につきましては、グローバルでの生産が微減となったことを受け、受注は前年同期比で減少しました。産業機械向け需要も減少基調となり、また半導体関連の分野では在庫調整も伴い、需要が大幅に減少しました。その結果、鋼材売上数量は前年同期比で減少しました。原料・資材関係では、鉄屑価格は国内需給の緩和により前年同期よりも安値で推移しましたが、エネルギーコストの増加、製鋼工程で使用する黒鉛電極等副資材価格が上昇し、コストアップとなりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は前年同期比77億9百万円減収の1,277億21百万円、経常利益は前年同期比29億3百万円減益の65億27百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、固定資産売却益により前年同期比38億27百万円増益の94億88百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車産業のグローバルにおける生産減少や、産業機械向けの需要が減少したことから前年同期比で数量が減少しました。工具鋼も、自動車産業の減速を受け数量が微減となりました。販売価格は、昨年度取り組んだ値上げ活動により上昇しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、国内需給の緩和により下落しましたが、エネルギーコストの増加、製鋼工程で使用する黒鉛電極等副資材価格が上昇し、コストアップとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の減少により前年同期比5.3%減少の499億43百万円となりましたが、営業利益は副資材価格上昇分の値上げ効果により前年同期比1億20百万円増益の11億66百万円となりました。

#### ②機能材料・磁性材料

ステンレス鋼および高合金は、自動車向けは燃費改善に向けた動きの中で需要が堅調に推移しましたが、半導体関連は世界的な設備投資延期等の影響やHDD（ハードディスクドライブ）の需要減少により、また磁石製品は、中国自動車販売の減少等を受け、それぞれ在庫調整の動きも伴い減少しました。粉末製品は、海外需要の減少により売上高が減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、半導体関連向けステンレス鋼、磁石製品、および粉末製品の売上数量の減少により前年同期比8.8%減少の428億50百万円、営業利益は前年同期比25億67百万円減益の35億68百万円となりました。

#### ③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、半導体関連需要が減少しましたが、船舶用バルブが好調に推移し、売上高は前年同期比で増加しました。エンジンバルブ部品は、傘中空バルブなどの数量増加により売上高は前年同期比で増加しました。型鍛造品は自動車生産の減少を受け、売上高は前年同期比で減少しました。精密鍛造品は、中国自動車の販売減少に伴いターボ関連製品の需要が減少し、売上高は前年同期比で減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、売上数量の減少により前年同期比8.3%減少の249億86百万円、営業利益は前年同期比1億62百万円減益の3億91百万円となりました。

#### ④エンジニアリング

自動車部品向け熱処理炉の好調を受け、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比4.9%増加の53億42百万円、営業利益は前年同期比4億20百万円増益の5億61百万円となりました。

## ⑤流通・サービス

主に新規連結会社の増加影響により、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比35.1%増加の45億98百万円、営業利益は前年同期比8百万円増益の6億82百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ15億56百万円増加し6,522億53百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、「現金及び預金」の増加58億43百万円、「たな卸資産」の増加35億80百万円、「有形固定資産」の増加61億74百万円、減少の主な内訳は、「受取手形及び売掛金」の減少85億39百万円、「投資有価証券」の減少62億33百万円であります。

なお、当第1四半期連結会計期間より連結決算の開示内容の充実およびグループ経営の強化を図るため、前連結会計年度において非連結子会社でありました28社を連結の範囲に含めております。この変更により、主として「現金及び預金」、「たな卸資産」、「有形固定資産」が増加し、新規連結に伴い関係会社株式が減少したため「投資有価証券」は減少しております。

新規連結の影響を除いた総資産の増減の主な内訳と要因は、下記のとおりであります。

- ・「受取手形及び売掛金」は、主として売上減少により減少しております。
- ・「有形固定資産」は、当社の再溶解設備の新設等により増加しております。
- ・「投資有価証券」は、保有株式の時価の下落により減少しております。

また、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産額は、前期末に比べ95億14百万円増加し3,276億54百万円となりました。純資産の増加の主な内訳と要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益94億88百万円の計上等による「利益剰余金」の増加96億82百万円、減少の主な内訳と要因は、保有株式の時価の下落による減少等による「その他有価証券評価差額金」の減少27億10百万円であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は44.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の世界経済は、緩やかに減速し、成長率は鈍化すると見込んでいます。米国は雇用環境の堅調さ等から緩やかな成長が継続すると見込まれますが、減税効果が薄れるなどやや減速すると見込んでいます。中国は米国との貿易摩擦等により経済成長が鈍化傾向にある中、政府の政策等が下支えとなり減速が緩やかとなることが期待されます。日本経済も外需の減速から成長は鈍化すると見込んでいます。こうした経済環境の中、主要需要先である自動車産業は、主要市場である米国・中国では生産台数が微減となると見込んでいます。産業機械向けは米中貿易摩擦の影響を受け、受注は弱含みで推移すると見込んでいます。また、大きく減速している半導体分野の回復には時間がかかると見込んでいます。

先行き不透明な経営環境ではありますが、当社グループは中長期的な成長を目指し、中期経営計画の行動方針であるポートフォリオ改革、事業基盤の強化、事業の再構築を着実に進めてまいります。それとともに、市場の変化・お客様の動向を常に注視し、その変化にも対応してまいります。

当期の連結業績につきましては、前回（2019年4月26日）公表した業績予想から大きな離れはないため、修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,734	47,578
受取手形及び売掛金	118,601	110,061
電子記録債権	14,198	16,479
たな卸資産	132,546	136,127
その他	6,062	6,673
貸倒引当金	△62	△56
流動資産合計	313,081	316,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	81,738	81,985
機械装置及び運搬具（純額）	93,850	100,289
その他（純額）	50,489	49,977
有形固定資産合計	226,078	232,252
無形固定資産		
1,502	1,502	1,520
投資その他の資産		
投資有価証券	87,110	80,876
退職給付に係る資産	14,801	14,770
その他	8,268	6,105
貸倒引当金	△145	△137
投資その他の資産合計	110,035	101,615
固定資産合計	337,616	335,388
資産合計	650,697	652,253

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,576	47,074
電子記録債務	35,785	30,933
短期借入金	74,972	71,104
コマーシャル・ペーパー	8,000	21,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	5,372	2,967
賞与引当金	7,845	3,337
その他の引当金	1,752	1,316
その他	25,787	34,330
流動負債合計	221,091	212,063
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	61,301	61,129
その他の引当金	3,965	3,956
退職給付に係る負債	10,330	10,504
その他	15,868	16,945
固定負債合計	111,465	112,535
負債合計	332,557	324,599
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	30,285	30,450
利益剰余金	203,299	212,982
自己株式	△3,651	△3,652
株主資本合計	267,106	276,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,495	14,785
繰延ヘッジ損益	△0	0
土地再評価差額金	1,537	1,537
為替換算調整勘定	983	1,311
退職給付に係る調整累計額	△1,614	△1,857
その他の包括利益累計額合計	18,402	15,777
非支配株主持分	32,631	34,924
純資産合計	318,140	327,654
負債純資産合計	650,697	652,253

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	135,431	127,721
売上原価	112,360	106,544
売上総利益	23,070	21,176
販売費及び一般管理費	14,532	14,811
営業利益	8,538	6,365
営業外収益		
受取利息	44	40
受取配当金	865	788
持分法による投資利益	274	213
その他	397	213
営業外収益合計	1,582	1,256
営業外費用		
支払利息	251	219
環境対策引当金繰入額	9	337
為替差損	69	127
固定資産除却損	147	117
その他	211	291
営業外費用合計	689	1,094
経常利益	9,431	6,527
特別利益		
固定資産売却益	—	7,441
特別利益合計	—	7,441
税金等調整前四半期純利益	9,431	13,969
法人税、住民税及び事業税	1,644	3,108
法人税等調整額	1,478	1,194
法人税等合計	3,123	4,303
四半期純利益	6,307	9,666
非支配株主に帰属する四半期純利益	647	177
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,660	9,488



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	6,307	9,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,526	△2,623
繰延ヘッジ損益	△1	1
為替換算調整勘定	△874	303
退職給付に係る調整額	△40	△225
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△25
その他の包括利益合計	△4,464	△2,569
四半期包括利益	1,843	7,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,330	6,837
非支配株主に係る四半期包括利益	513	259

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より連結決算の開示内容の充実およびグループ経営の強化を図るため、前連結会計年度において非連結子会社でありました大同磁石(深圳)有限公司、下村特殊精鋼(蘇州)有限公司、大同凱思英鑄造(蘇州)有限公司、フジホローバルブ(株)、Daido Kogyo (Thailand) Co.,Ltd.、ORIENTAL SHIMOMURA DRAWING(M) SDN. BHD.、他22社を連結の範囲に含めております。

また、上記の理由により前連結会計年度において持分法非適用関連会社でありました3社を、当第1四半期連結会計期間より持分法の適用の範囲に含めております。

## (セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	52,712	46,982	27,236	5,094	3,404	135,431	—	135,431
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,783	4,773	7,547	552	2,994	34,651	△34,651	—
計	71,496	51,755	34,784	5,647	6,399	170,083	△34,651	135,431
セグメント利益	1,046	6,135	553	140	673	8,549	△11	8,538

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	49,943	42,850	24,986	5,342	4,598	127,721	—	127,721
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	15,606	4,246	5,977	129	3,166	29,126	△29,126	—
計	65,549	47,096	30,964	5,471	7,765	156,847	△29,126	127,721
セグメント利益	1,166	3,568	391	561	682	6,369	△3	6,365

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足説明資料

## (1) 当第1四半期のセグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	2019年6月 第1四半期	前年 同期差 増減額 (増減率)	2019年6月 第1四半期	前年 同期差 増減額
特殊鋼鋼材	49,943	-2,769 (-5.3%)	1,166	120
機能材料・磁性材料	42,850	-4,132 (-8.8%)	3,568	-2,567
自動車・産業機械部品	24,986	-2,250 (-8.3%)	391	-162
エンジニアリング	5,342	247 (4.9%)	561	420
流通・サービス	4,598	1,194 (35.1%)	682	8
調整	—	—	△3	7
計	127,721	-7,709 (-5.7%)	6,365	-2,173

## (2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	2019年6月 第1四半期	前年 同期差 増減額 (増減率)
売上高	127,721	-7,709 (-5.7%)
営業利益	6,365	-2,173 (-25.5%)
営業外損益	162	-730
経常利益	6,527	-2,903 (-30.8%)
特別損益	7,441	7,441
税引前純利益	13,969	4,537
法人税等	4,303	1,179
非支配株主に帰属する 当期純利益	177	-469
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,488	3,827 (67.6%)

(鋼材売上数量(単体) 318千t、前年同期差 29千t減)

## (3) 当第1四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売価格は正	22	1. 販売数量減少	32
2. 固定費の改善	4	2. 原燃料等市況	11
3. 新規連結	3	3. 内容構成差他	4
		4. 変動費の悪化	3
		5. 営業外損益他	8
計(a)	29	計(b)	58
		差引(a) - (b)	-29

(参考：原料・為替市況)

	2018年6月 第1四半期	2019年6月 第1四半期
H2建値 (千円/t)	29.6	25.9
ニッケル(LME) (\$/1b)	6.6	5.6
為替レート(TTM) (円/\$)	109.5	110.9

## (4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2019年 3月末	当第1四半期 2019年 6月末	増減	科目	前期 2019年 3月末	当第1四半期 2019年 6月末	増減
流動資産	313,081	316,865	3,783	負債	332,557	324,599	-7,958
現金	41,734	47,578	5,843	営業債務	87,361	78,007	-9,353
営業債権	132,800	126,541	-6,258	有利子負債	174,998	174,188	-810
たな卸資産	132,546	136,127	3,580	その他	70,196	72,402	2,206
その他	5,999	6,617	618				
固定資産	337,616	335,388	-2,227	純資産	318,140	327,654	9,514
有形固定資産	226,078	232,252	6,174	株主資本	267,106	276,952	9,846
無形固定資産	1,502	1,520	17	その他の包括利益 累計額	18,402	15,777	-2,625
投資その他の資産	110,035	101,615	-8,419	非支配株主持分	32,631	34,924	2,292
資産合計	650,697	652,253	1,556	負債純資産合計	650,697	652,253	1,556